

SNSを活用した相談体制構築事業 …ひとりで悩まないで@長野…

心の支援課

1 事業目的

中学生・高校生の通信手段が電話からSNSに移行していることを踏まえ、いじめ・不登校等に悩む子どもたちの「相談したい気持ち」に応える相談体制を構築する。

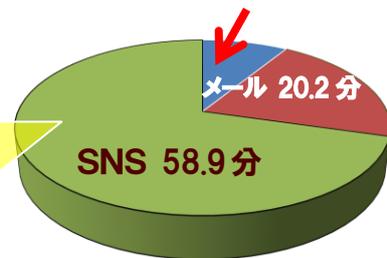
2 事業内容

(1) 子どもを取り巻く現状

子どもたちのコミュニケーションはSNSの利用が大勢に

▶10代の若者の平日のメディア利用平均時間
※H28 情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査(総務省)

電話 8.7分(固定・携帯・ネット電話)



(2) SNSによる相談の試行《ひとりで悩まないで@長野》

試行期間：平成29年9月10日(日)～23日(土) 17:00～21:00
対象者：中学生、高校生等
相談体制：相談員10名(10回線)を配置して相談に対応
(外部の専門機関に業務を委託)



登録カード配布対象者数	約12万人
うち登録者数累計(9/23)	3,817人
相談アクセス数(時間内)	1,579人
相談対応実績[2週間]	547件

相談件数が
大幅に増加

電話による
子どもからの相談件数
= **259件** (H28年度・年間)
(学校生活相談センター)

事業の効果

- ◆潜在した相談へのニーズの発掘
 - ▶「ひとりで悩む」子ども達に潜んでいた『相談したい気持ち』を掘り起こした。
- ◆悩みの「芽」を早期に摘み取り
 - ▶子どもの悩みを解決可能な時期に解消し、深刻な事態に陥ることを回避。

SNSを活用した相談体制の常設が必要

(3) SNSを活用した相談体制の確立

試行結果を踏まえ、国の制度を活用してSNSによる相談体制を拡充

- ① 相談対象
中学生・高校生及びそれらに相当する生徒等
- ② 体制
専門の相談機関に相談業務を委託
- ③ 実施方法
夏休みの前後を中心に相談日を設定(約60日)
- ④ その他
SNSによる相談を通年実施するために必要なデータを収集する。

3 平成29年度補正予算額(繰越) 1000万円